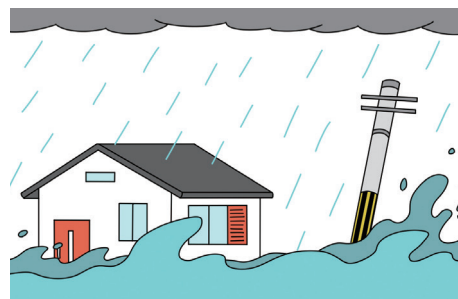


大雨・洪水・土砂災害・台風

台風や大雨による災害は、あらかじめ予測が可能です。事前に、気象情報などを確認することで、行動を制限したり、準備しておくことができます。しかし、予想を上回る大雨が降った場合、洪水や土砂災害が起こる可能性が高まります。大災害に備えて、災害時の情報の入手方法などを事前に確認しましょう。また、ハザードマップで自宅の場所の災害リスクを確認し、家族で避難方法や連絡方法を話し合っておきましょう。



雨の強さと降り方の目安

1時間の雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10以上 ～ 20未満	やや強い雨	 ザーザーと降る	長く続くときは 注意が必要
20以上 ～ 30未満	強い雨	 どしゃ降り	側溝や下水、小さな川が あふれ、小規模のがけ崩れ が始まる
30以上 ～ 50未満	激しい雨	 バケツをひっくり 返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起き やすくなり、危険地帯では 避難の準備が必要
50以上 ～ 80未満	非常に 激しい雨	 滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	●マンホールから水が 噴出する ●土石流が起こりやすい ●多くの災害が発生
80以上	猛烈な雨	 ●息が苦しくなるよう な圧迫感がある ●恐怖を感じる	雨による大規模な災害が 発生するおそれ強く 厳重な警戒が必要

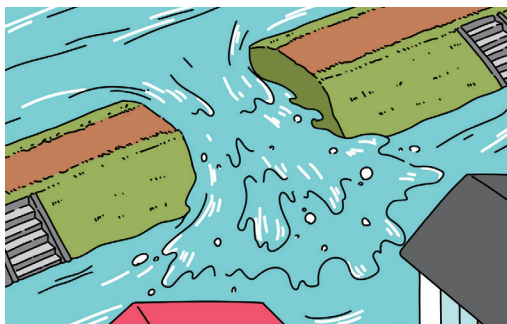
(気象庁)



洪水・浸水害

外水はん濫（洪水）と内水はん濫

水害には、河川の水があふれてしまう外水はん濫（洪水）と、降った雨を排水しきれずに街中にあふれてしまう内水はん濫の2種類があります。河川の水を「外水」というのに対し、堤防で守られた内側の土地にある水を「内水」といいます。



外水はん濫

長時間の激しい雨により、河川が増水し、河川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊することで浸水します。また、付近で雨が降っていないくても、河川の上流で降っている場合等で河川が増水し、浸水する可能性があります。



内水はん濫

市街地などで短時間に集中して降る雨により、下水の排水処理能力を超えるなどしてあふれる浸水害です。マンホールや側溝から水があふれ、市街地や道路などが冠水します。

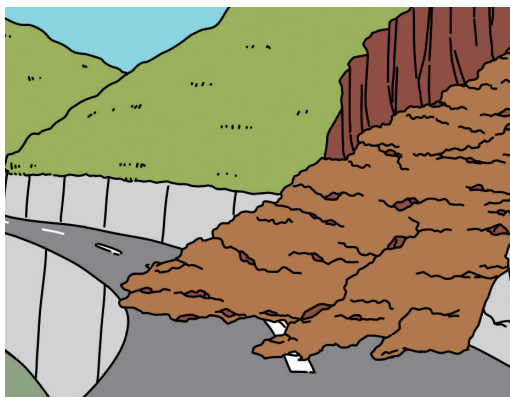
ため池の決壊

ため池の決壊は、大雨や地震によって発生する可能性があります。濁流による浸水と土砂災害を引き起こします。



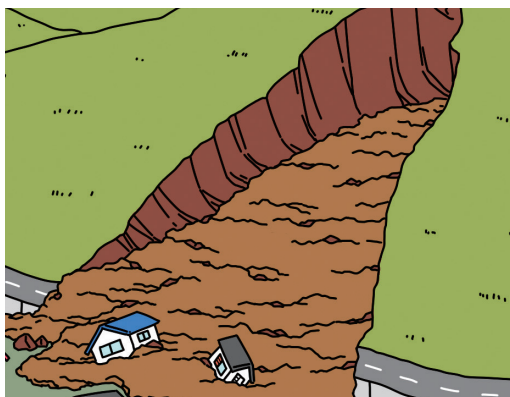
土砂災害

大雨・台風・地震時に、地盤がゆるみ、土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害の種類を知り、右ページのような前兆現象を見かけたら速やかにその場から離れましょう。※雨が止んだ後も注意が必要です。



がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで大きな被害が出る。



地すべり

比較的緩やかな斜面で地中の粘土層などがゆっくりと動き出す現象。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路などに大きな被害が出る。



土石流

谷や斜面にたまった土・石・砂などが、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。スピードが速く、破壊力も大きいため、広範囲に大きな被害が出る。

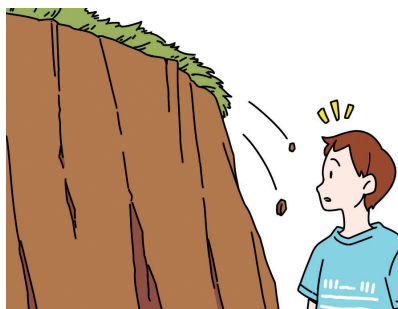




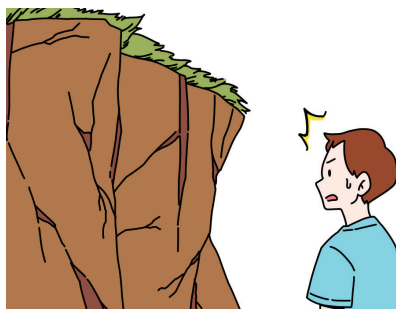
CAUTION (前兆現象)

こんなときは土砂災害発生の危険性が高まっています!

- 土砂災害の危険性のある地域で大雨が降ったときや普段と違った現象を発見したとき
- 土砂災害警戒情報が発表されたとき
- 市から高齢者等避難や避難指示が出されたとき



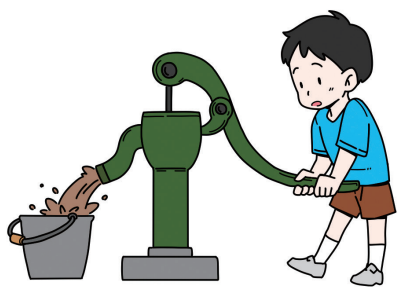
がけから小石が
パラパラ落ちてくる。



斜面にひび割れができる。



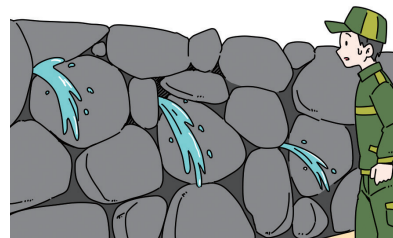
がけからの湧き水の
量が増える。



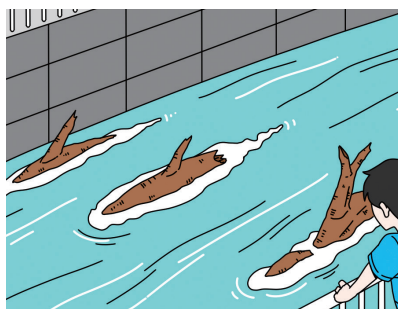
地下水や湧き水の急激な
変化で、井戸の水が濁る。



地面にひび割れができる。



斜面から水が噴き出る。



川が濁ったり、
流木がまざり始める。



雨が降り続けているのに、
川の水位が下がる。



地鳴りがする。
腐った土の匂いがする。

台風

台風とは

北西太平洋または南シナ海に存在する熱帯低気圧のうち、低気圧域内の最大風速がおよそ17m/s以上になったものを「台風」と呼びます。台風は、7月から10月にかけて、多く上陸します。台風が近づくにつれて、気圧が下がり、雨や風の強さが増します。

近年でも、猛烈な雨や風によって、風水害や土砂災害が発生しています。

台風の接近が予測されたときは、気象情報などから、台風の大きさや強さ、進路などをこまめに確認してください。外出を控えたり、早めの避難により、身の安全を確保することが第一です。

過去の台風を振り返る

平成30年(2018年) 台風21号

9月4日に近畿地方を直撃した台風21号は枚方市内における観測史上最大の瞬間風速40.2m/sを記録しました。この強風によって、市内全域で屋根瓦や看板が飛ばされ、倒木や停電が多数発生するなど、近年の台風では経験したことがないような大きな被害となりました。

枚方市では、土砂災害警戒区域1,216世帯に「避難勧告」、穂谷川の水位上昇に伴う危険地域24,905世帯に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、避難所43カ所を開設しました。



この台風により、236人の方が避難され、住家の被害は5,400件以上となりました。



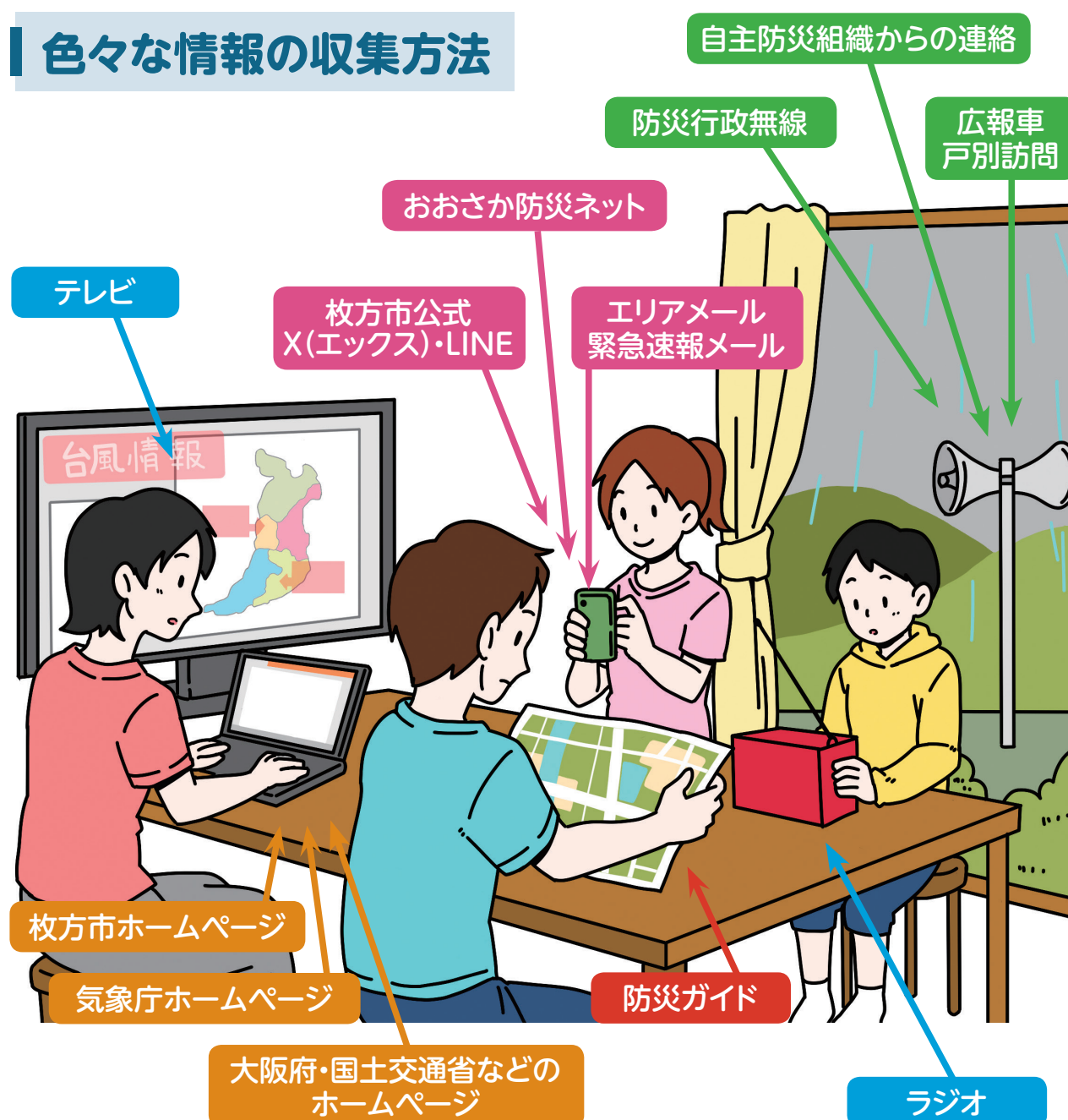
枚方市の主な被害状況

軽症者	11人
(うち2人は中等傷、軽症の主なものはガラスによる負傷)	
飛来物・街路樹倒木等による道路被害	392件
倒木・施設損壊等による公園被害	134件
その他の倒木	139件
住家被害(り災証明書発行件数)	
全壊	5件
半壊	8件
一部損壊	5,468件

災害情報の収集

災害から自分や家族の命を守るために、災害時は自らが情報を収集し、状況を確認しながら落ち着いて行動することが大切です。

色々な情報の収集方法



それぞれの情報の入手方法については、次ページにて紹介いたします。

災害情報の入手方法

事前登録しておくことで、災害情報が自動配信されるサービスなどがあります。
自分が使いやすいサービスを選んで、あらかじめ登録しておきましょう。

枚方市が発信する情報入手する

災害時に災害情報が通知されます。

避難所混雑状況(VACAN)

避難所の位置や混雑状況をスマートフォンやパソコンなどでリアルタイムに確認することができます。「VACAN(バカン)」は、市外に住む人も確認できます。スマートフォンやパソコンを持っていない人、取り扱いが苦手な人は、離れて暮らす家族や知人に確認してもらうこともできます。

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/kikikanri/000035451.html>



枚方市公式X

枚方市における新着情報やイベント情報などをお知らせします。災害時には避難情報や被害状況などを発信します。

https://twitter.com/hirakata_city



枚方市公式LINE

枚方市公式LINEに友だち登録しておくで、枚方市から緊急情報が届きます。災害時には被害状況や危険箇所などを通報することもできます。LINEの登録方法は3種類。

①コード読み取り

右のコードを読み取る



②ID検索

友だち追加の検索欄に

@hirakata_city で検索して友だち追加

③友だち追加ボタン

市のホームページから

 友だち追加 をクリック

自動音声配信電話サービス

台風など風水害時や土砂災害時に、枚方市が発令する避難情報(高齢者等避難、避難指示など)をご家庭の固定電話に自動で配信します。

対象となる方は、スマートフォン、携帯などをお持ちでない方など(詳細はお問い合わせください)。

登録にあたっては、事前の申し込みが必要です。登録をご希望される方は、枚方市 危機管理部へご連絡ください。

☎072-841-1270 FAX 072-841-3092

《よくあるご質問》

問1 利用にあたって費用はかりますか？

答1 登録料や情報の受信にかかる通信料は、一切かかりません。ただし、情報をもう一度聞き直すために電話を掛け直す場合は、3分約10円の通信料がかかります。

問2 同居の家族がいる場合は登録できますか？

答2 家族全員が携帯電話などをお持ちでない場合は、登録可能です。また、携帯電話をお持ちの方が仕事や学校等により日中は不在となり、その間携帯電話などをお持ちでない方のみが在宅となる場合も登録可能です。

大阪府などが発信する情報を入手する

おおさか防災ネット

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>

地震や台風の情報をリアルタイムにお知らせします。気象・地震・津波・台風・河川の状態など幅広い防災情報を携帯メールでリアルタイムにお知らせします。右の二次元コード、または touroku@osaka-bousai.net に空メールを送って登録してください。



エリアメール・緊急速報メール

市が配信する避難指示などの緊急情報を携帯メールで受信できます。事前登録は不要ですが、対象機種でも設定を行わないと受信できない場合があります。詳細は各携帯電話会社へお問い合わせください。

インターネットから情報を入手する

枚方市のホームページ

大規模災害時には、ホームページ全体が緊急・災害専用ページに切り替わり、さまざまな情報サイトへのリンクページを掲載します。

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/>



国土交通省の川の防災情報

高精度な降雨の観測情報を確認することができます。

<https://www.river.go.jp/portal/#86>



大阪府の河川防災情報

船橋川、穂谷川、天野川等の情報が確認できます。

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>



国土交通省の地点別浸水シミュレーション検索システム

国が管理する河川において、想定破堤点や浸水想定などを確認することができます。

<https://suiboumap.gsi.go.jp/>



大阪府の洪水リスク表示図

大阪府管理の全154河川において、浸水想定区域などの洪水リスクを確認できます。

<http://www.river.pref.osaka.jp/>



気象庁のホームページ

閲覧できる主な気象情報

- 天気予報……………雨雲の動き、雨などの観測データが確認できます。
- 気象警報・注意報 ……大雨洪水警報や、土砂災害・浸水害・洪水の危険度分布を確認できます。
- 地震……………最新の震度情報などが確認できます。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



報道等で発信される情報を入手する

テレビ・ラジオ

台風などで大雨や強風が予想されているときは、テレビやラジオなどで、こまめに気象情報を確認してください。

防災行政無線

市内の小学校など、77カ所に設置しているスピーカーから緊急情報を一斉放送します。放送した内容は電話応答サービスでも確認できます。

☎0120-35-1221 (携帯電話からも利用できます)

混雑時には、つながりにくくなる可能性があります。その場合は、市のホームページでも放送内容を掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

災害情報の把握ととるべき行動

台風や集中豪雨により、大雨が続いたり、一時的に猛烈な雨が降ると、河川の水位が上昇し、土砂災害の危険度も高まります。

気象情報や避難情報を確認して、自分や家族の命を守ることを優先した行動をとりましょう。

河川名	水位観測所	場 所
淀 川	枚 方	淀川河川公園内 淀川スタジアム横
船橋川	西河原橋	牧野小学校付近
穂谷川	山垣内橋	阪今池公園付近
天野川	禁野橋	枚方警察署付近

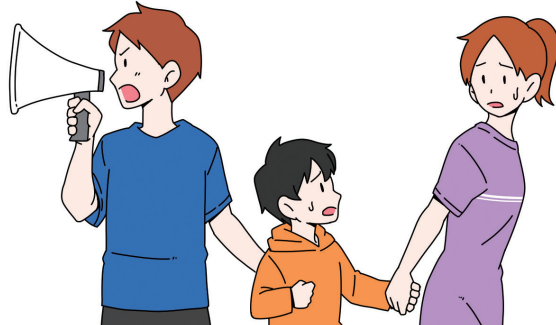
気象状況	気象庁等の情報※1		河川の水位情報		警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	はん濫発生情報	はん濫開始相当水位	淀 川 8.40m	5
				船橋川 4.10m	
				穂谷川 3.55m	
				天野川 5.66m	
大雨の数時間前～2時間程度前	土砂災害警戒情報	はん濫危険情報	はん濫危険水位	淀 川 5.50m	4
				船橋川 3.20m	
				穂谷川 2.70m	
				天野川 4.50m	
大雨の半日～数時間前	大雨警報 洪水警報	はん濫警戒情報	避難判断水位	淀 川 5.40m	3
				船橋川 3.10m	
				穂谷川 2.60m	
				天野川 4.30m	
大雨の数日～約1日前	大雨注意報※2 洪水注意報	はん濫注意情報	はん濫注意水位	淀 川 4.50m	2
				船橋川 2.00m	
				穂谷川 2.25m	
				天野川 3.50m	
大雨の数日～約1日前	早期注意情報 (警報級の可能性)	—	水防団待機水位	淀 川 2.70m	1
				船橋川 1.00m	
				穂谷川 1.00m	
				天野川 1.00m	

※1 気象庁等の特別警報・警報・注意報は概ね市町村ごとに、危険度分布は概ね1km四方の領域ごとに、指定河川洪水予報（はん濫発生情報、はん濫危険情報、はん濫警戒情報、はん濫注意情報）は河川ごとに発表されます。

※2 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替わる可能性が高い注意報が発表された場合は、慌てず対応できるよう、心構えを高めておきましょう。

枚方市からの**避難情報発令に留意する**とともに、発令されていない場合でも、浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内にお住まいの方は、**自ら安全を確保**してください。

また、避難に時間を要する人は、早めに避難行動をとるようにしましょう。なお、警戒レベル5の状況では、災害が発生して避難できなくなる可能性が高いことから、**警戒レベル3や4の段階で避難することが重要**です。



警戒レベル	避難情報(枚方市が発令)	市民の皆さんがとるべき行動	気象状況
5	緊急安全確保 (河川水位) はん濫開始相当水位に到達した場合 (土砂災害) 大雨特別警報(土砂災害)が発表された場合。土砂災害の危険度分布で「災害切迫(黒)」となった場合	●災害がすでに発生しています ●命を守るための最善の行動をとしましょう	数十年に一度の大雨
4	避難指示 (河川水位) はん濫危険水位に到達し、引き続き水位の上昇が見込まれている場合(淀川は、はん濫危険水位+50cmの6m) (土砂災害) 土砂災害警戒情報が発表された場合。土砂災害の危険度分布で「危険(紫)」となった場合	●速やかに避難先へ避難しましょう ●公的な避難場所までの移動が危険と判断した場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ避難しましょう	
3	高齢者等避難 (河川水位) 水位が避難判断水位に到達した場合 (土砂災害) 大雨警報(土砂災害)が発表され、かつ、土砂災害の危険度分布が「警戒(赤)」となった場合	●避難に時間を要する人(高齢者・障害者・乳幼児等)とその支援者は避難しましょう ●高齢者、障害を持つ人、乳幼児等とその支援者は避難しましょう ●その他の人は避難の準備を整えましょう	大雨の数時間前～2時間程度前
2	—	●避難に備え、ハザードマップ等から自分がとる避難行動を確認しましょう	大雨の半日～数時間前
1	—	●気象庁が発表する注意情報等を確認するなど、災害への心構えを高めておきましょう	大雨の数日～約1日前

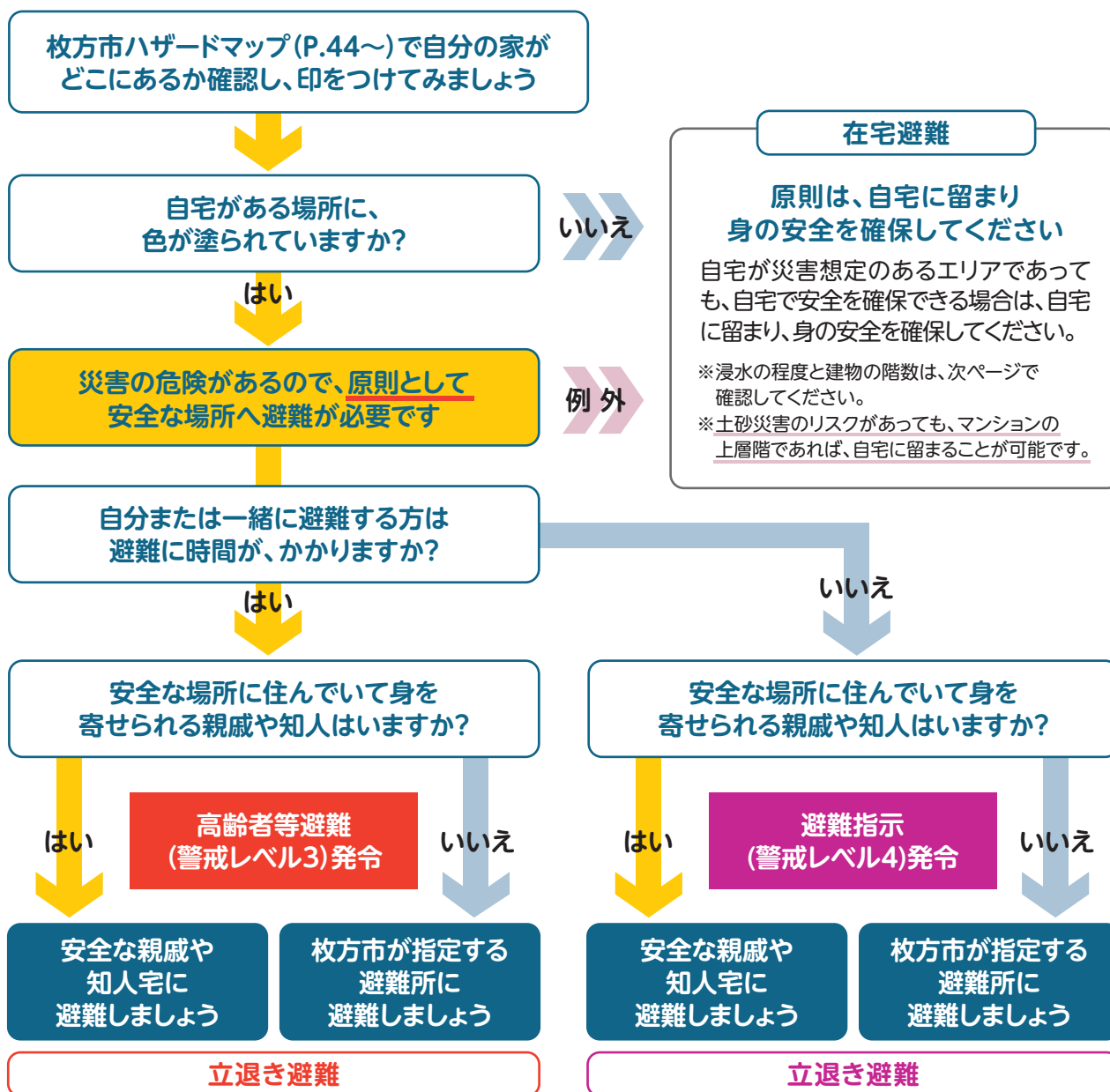
※木津川については、本市から離れているため、洪水発生後に状況に応じて避難情報を発令します。(洪水発生後、本市に浸水被害が発生するのは、およそ5時間後と想定されています。)
 ※気象庁「5段階の警戒レベルと防災気象情報」(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>)を加工して枚方市にて作成。

風水害・土砂災害編

避難行動の選択の目安

大雨が続き、洪水や土砂災害が発生するかもしれないとき、
自分や家族にとっての最善の避難行動を確認しておくことが大切です。
避難行動判定フローを使って、あなたのとるべき行動を確認しましょう。

あなたのとるべき避難行動判定フロー



立退き避難と在宅避難

災害時の避難行動は、自宅の外へ逃げる「立退き避難」と自宅の中で安全な場所に留まる「在宅避難」があります。

立退き避難

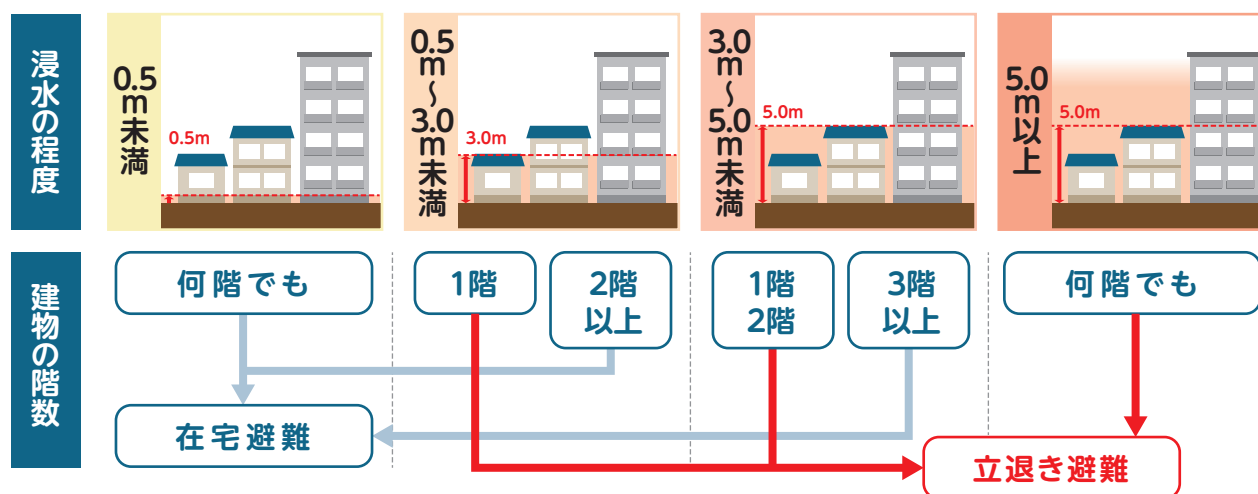
自宅が浸水想定区域内にあるなど、災害の影響を受けることが予測される場合は、安全な親戚・知人宅や枚方市が指定する避難所へ避難してください。

在宅避難

自宅やそのとき居合わせた建物の安全が確認できる場合、在宅避難してください。浸水の状況によっては、より上の階へ移動する必要があります。

浸水の程度と立退き避難・在宅避難の目安

※自宅の浸水深をハザードマップ(P.44～)で確認



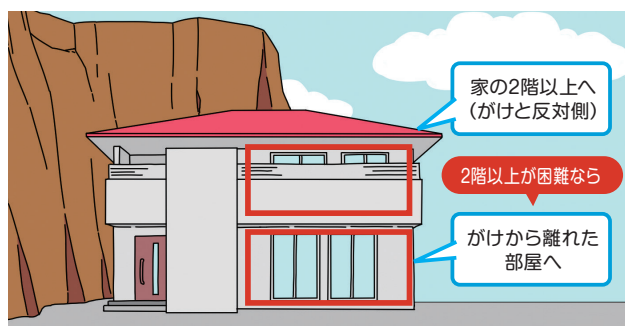
土砂災害警戒区域の避難について

土砂災害の前兆現象に気付いたら、すぐに枚方市へ連絡してください。

在宅避難の場合でも、避難情報が発令された場合は、情報に従って立退き避難をしてください。避難に時間を要する人は、できるだけ早い段階での行動が必要です。

土砂災害による被害の多くは、木造建物の1階で発生しています。

逃げ遅れるなどして、屋外への避難が困難な場合は、家の2階以上でがけから離れた部屋など、家の中でより安全な場所へ移動しましょう。



在宅避難に関することはP.32を、避難所に関することはP.30をご確認ください。

避難するときのポイント

大雨時に、自宅の外へ避難するときは、徒歩で避難しましょう。
車での避難は緊急車両の通行の妨げとなったり、交通渋滞をまねく場合があります。
また、車は浸水すると動けなくなります。



裸足、長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



歩ける深さは、男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰まであるようなら無理は禁物です。高所で救助を待ちましょう。



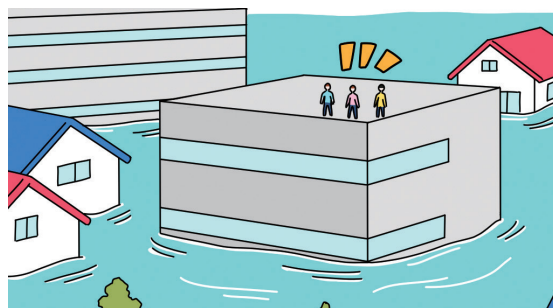
はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しましょう。特に子どもからは目を離さないでください。



水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒を杖代わりにして、安全を確認しながら歩きます。



お年寄りや身体の不自由な人などは背負い、幼児は浮き袋、乳児はベビーバス等を利用して安全を確保しながら避難してください。

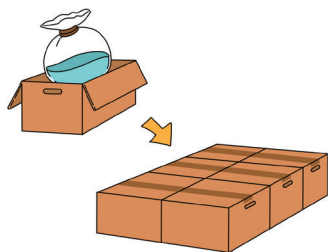


万が一、避難が遅れ、危険がせまったときは、近くの丈夫な建物のなるべく上の階へ避難しましょう。

水のうや止水板で浸水に備える

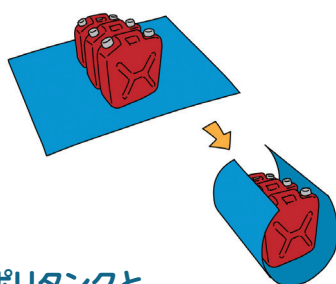
「水のう」を使って、水害時の対策をしましょう

小規模な水害で水深の浅い初期段階であれば、身近なものを使った対策でも浸水を防ぐことができます。「水のう」の作り方を確認しておきましょう。



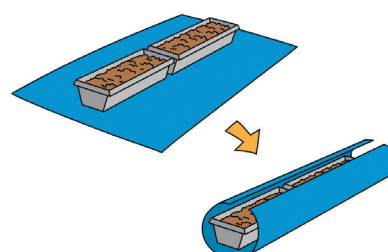
ごみ袋と段ボール箱を利用する

ごみ袋を二重、三重にして、袋に水を半分程度まで入れて、きつく縛り、簡易水のうを作ります。簡易水のうを段ボール箱に入れて、敷き詰めて使用します。



ポリタンクとビニールシートを利用する

ポリタンクなどに水を入れ、ブルーシートやレジャーシートなどの上に並べて置き、シートで巻き込んで使用します。



プランターとビニールシートを利用する

ポリタンクの代わりに土の入ったプランターがある場合は、「土のう」として使用できます。

浸水被害にお悩みの方へ

補助制度を利用して「止水板」を設置しましょう

建物の入り口等に設置してはん濫水の侵入を防ぐ板のことを「止水板」といいます。枚方市では、大雨による浸水被害にお悩みの方を支援するため、止水板等の設置に対して、補助金を交付する制度を設けています。

補助対象者

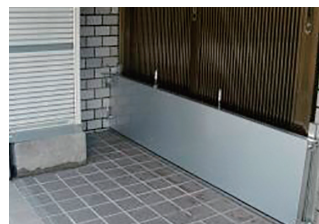
市内の住宅または事業所（仮設のものおよび事業者が売買を目的として所有するものを除く）に止水板等を設置した方

※設置前に必ず、ご相談をお願いします。

補助金額

要した費用の2分の1として上限は50万円
(1,000円未満の端数は切り捨て)

【補助事例】住宅玄関
アルミ製取り外し型



詳しくは、枚方市 危機管理部 ☎072-841-1270 FAX 072-841-3092へ
お問い合わせください。

ホームページからもご確認いただけます。

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/kikikanri/0000003922.html>

